

重要な意味を持っています。TCER では現在、公益法人認定に向けて準備を進めております。その一環として本年度から、東京飯田橋に事務所を開設し、事務担当職員として町田比左恵さんを採用致しました。今後は理事会等の会合等もその事務所で行う予定です。これまで TCER は、長期間にわたって経済同友会にさまざまな事務をお願いしてきました。そのことについて、経済同友会にあらためて深い感謝の意を表したいと思えます。また、今後とも経済同友会 - TCER セミナーの開催などを通じて引き続き、ご協力をお願い致したいと存じます。

第二に、来年、TCER は設立 50 周年を迎えます。1959 年、日本経済に関する理論的実証的研究を使命として TCER は設立され、以後、各研究員による研究プロジェクト、TCER プロジェクト(「旧逗子コンファレンス」)、TRIO コンファレンス・マイクロコンファレンス・マクロコンファレンス等の国際研究活動等を行ってきました。これに加えて今年度から、しばらく休止していた個人研究プロジェクトへの助成を再開致しました。50 周年を機に、これらの活動をいっそう活発に展開していく所存です。また、50 周年を記念して、特別なプロジェクトを行うことも検討しています。

TCER は現在のところ必ずしも大きな組織ではありませんが、アメリカの NBER、ヨーロッパの CPER に対応する、日本における経済学研究のインフラストラクチャーとしての機能を果たすべく、努力して参りたいと思えます。会員の皆様には、TCER を研究の基盤として十分にご活用下さい。また、その機能をよりよいものとするために、ご意見があればお聞かせいただきたくお願い申し上げます。

(2) 2 0 0 8 年度新理事紹介

2008 年度は理事交代の時期に当たります。新理事は以下のように決まりました。(敬称略)

代表理事

岡崎哲二 (東京大学経済学研究科)

副代表理事

福田慎一 (東京大学経済学研究科)

代表理事代理

柳川範之 (東京大学経済学研究科)

渉外担当

浦田秀次郎 (早稲田大学アジア太平洋研究科)

総務 (ホームページ担当)

土居丈朗 (慶應義塾大学経済学部)

総務 (ニュースレター、名簿担当)

グレーヴァ香子 (慶應義塾大学経済学部)

総務 (登記、報告書作成担当)

清野一治 (早稲田大学政治経済学術院)

企画担当

長岡貞男 (一橋大学イノベーション研究センター)

国際活動担当

伊藤秀史 (一橋大学商学研究科)

会計・研究会担当

大橋弘 (東京大学経済学研究科)

会計監査

瀬古美喜 (慶應義塾大学経済学部)

大橋勇雄 (中央大学ビジネススクール)

(3) 新事務所のお知らせ

昨年度までは、経済同友会のご厚意のもと、同友会内に設置されておりました TCER 事務局ですが、本年度より以下の場所に独立の事務所を構えることになりました。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 601 号室

財団法人 東京経済研究センター

(Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp)

尚、事務員は常勤ではありませんので、ご連絡はなるべくメールでお願いいたします。

(4) 2008年度第1回研究会・評議員会報告

2008 年度第 1 回研究会は、2008 年 5 月 2 日 (金曜日) 午後 4 時より、早稲田大学西早稲田キャンパス 19 号館 7 階 713 教室にて行われ、2007 年度事業報告・決算、理事の選任、新規研究員の受け入れが審議、承認されました。御参加 (委任状を含む) された皆様に感謝いたします。

また、2008 年度第 1 回評議員会は、2008 年 5 月 15 日 (木曜日) 午後 0 時 30 分より、日本工業倶楽部にて行われ、2007 年度事業報告・決算、理事の選任、新規研究員の受け入れが審議、承認されました。

(5) 2008年度個人研究助成決定のお知らせ

本年度から、個人研究助成が再開されました。審査の結果、共同研究 2 件 (各 35 万円)、個人研究 4 件 (35 万円 3 件、25 万円 1 件) が採択されました。研究助成の対象は研究員 (客員を除く) です。研究員の任期は 4 年です。更新時期に研究計画書・報告書の提出がなく、客員研究員になられてしまっても、再び研究計画書・報告書を提出されれば研究員に戻ることができます。研究員ステータス、更新時期等についてご不明な点がございましたら、お調べいたしますので、総務理事 (名簿担当) グレーヴァ (takakofg@econ.keio.ac.jp) までお問い合わせ下さい。研究助成の詳細についてはグレーヴァではなく、代表理事代理柳川 (yanagawa@e.u-tokyo.ac.jp) へお問い合わせ下さい。尚、メールされますときは、件名に TCER という一語を入れて下さると、メールソフトの機能による振り分けなどの事故が少ないと思います。

来年度の募集については 2009 年春ごろにウェブおよびメーリングリストでお知らせする予定です。

2. TCER 研究会

2008 年度の TCER 研究会は東京大学で、東京大学マクロワークショップ、および東京大学ミクロワークショップとの共同開催の形で開催されます。

マクロワークショップのウェブサイト：

<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/research/workshops/macro/macro.html>

ミクロワークショップのウェブサイト：

<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/research/workshops/micro/micro.html>

に最新の情報が 있습니다。前期の研究会は以下の通りでした。

日時：2008年4月3日（木） 午後0:00～1:30

報告者：Muttur Ranganathan Narayana氏(CIRJE, and Institute for Social and Economic Change)

論題：“Substitutability between Mobile and Fixed Telephones: Evidence and Implications for India”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第3共同研究室

日時：2008年4月8日（火） 午後0:10～1:20

報告者：飯味 淳氏(世界銀行)

論題：“Procurement Efficiency for Infrastructure Development and Financial Needs Reassessed”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第3共同研究室

日時：2008年4月8日（火） 午後4:50～6:30

報告者：吉原 直毅氏(一橋大学)

論題：“Injustice of Exploitation” (Joint with Roberto Veneziani)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年4月10日（木） 午後4:50～6:30

報告者：James M. Nason氏(Federal Reserve Bank of Atlanta)

論題：“Exchange Rates and Fundamentals: A Generalization”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年4月16日（水） 午後4:50～6:30

報告者：石田 潤一郎氏(大阪大学)

論題：“Decisiveness”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年4月18日（金） 午後6:00～7:00

報告者：武藤 一郎氏(日本銀行)

論題：“Monetary Policy and Learning from the Central Bank's Forecast”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第2共同研究室

日時：2008年4月24日（木） 午後4:50～6:30

報告者：R. Anton Braun氏(東京大学)

論題：“The Quantitative Effects of Monetary Aggregate Targeting in a Zero Interest Rate Environment: Results from Japan”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月13日（火） 午後4:50～6:30

報告者：佐藤 愛氏(東京大学)

論題：“A Theory on Board Decisions about CEO Replacement”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月15日（木） 午後4:50～6:30

報告者：青木 周平氏(東京大学)

論題：“A Simple Accounting Framework for the Effect of Resource Misallocation on Aggregate Productivity”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月20日（火） 午後4:50～6:30

報告者：Guillaume Rocheteau氏(Federal Reserve Bank of Cleveland and National University of Singapore)

論題：“Money and Competing Assets under Private Information”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月22日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Hafedh Bouakez氏(HEC Montreal, Canada)

論題：“Optimal Pass-Through of Oil Prices”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月27日（火） 午後4:50～6:30

報告者：橋本 理氏(東京大学)

論題：“Generic Impossibility of Partial Ex Post Implementation with General Utility Functions”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月29日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Mark Gertler氏(New York University)

論題：“Interpreting Wage Cyclicity of New Hires”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年5月30日（金） 午後3:00～4:15

報告者：Christopher Sims氏(Princeton University)

論題：“Discrete and Sticky Behavior from Shannon Information Constraints”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟6階 大会議室

日時：2008年5月30日（金） 午後4:15～5:30

報告者：Michael Woodford氏(Columbia University)

論題：“Information Constrained State Dependent Pricing”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟6階 大会議室

日時：2008年5月30日（金） 午後5:45～7:05

報告者：Andrew Levin氏(Federal Reserve Board)

論題：“Why are Prices Sticky?”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟6階 大会議室

日時：2008年6月2日（月） 午後0:00～1:10

報告者：笠原 博幸氏(The University of Western Ontario)

論題：“Sequential Estimation of Structural Models with Fixed Point Constraint”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第2共同研究室

日時：2008年6月3日（火） 午後4:50～6:30

報告者：金子 守氏(筑波大学)

論題：“An Equilibrium-Econometric Analysis of Rental Housing Markets with Indivisibilities” (Joint with Tamon Ito)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月5日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Yuuki Teranishi氏(日本銀行)

論題：“Optimal Monetary Policy under Heterogeneous Banks” (Joint with Nao Sudo)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月9日（月） 午後0:00～1:30

報告者：Oded Galor氏(Brown University)

論題：“Diversity and Comparative Development”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年6月10日（火） 午後4:50～6:30

報告者：西田 充邦氏(University of Chicago)

論題：“The Effect of Zoning Regulations on Entry in the Retail Industry”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月12日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Charles Ka Yui Leung氏(the City University of Hong Kong)

論題：“Optimal Monetary Policy with Sticky Office Rents” (Joint with Wing Leong Teo)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月17日（火） 午後4:50～6:30

報告者：Alistair Munro氏(GRIPS/政策研究大学院大学)

論題：“An Experimental Test of Household Models in East Uganda” (Joint with Vegard Iversen, Cecile Jackson, Bereket Kebede, and Arjan Verschoor)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月19日（木） 午後4:50～6:30

報告者：大垣 昌夫氏(Ohio State University)

論題：“Tough Love and Intergenerational Altruism” (Joint with Vipul Bhatt)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月24日（火） 午後4:50～6:30

報告者：安部 由起子氏(北海道大学)

論題：“A Cohort Analysis of Male and Female Employment in Japan”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年6月26日（木） 午後0:00～1:10

報告者：Makoto Nakajima氏(University of Illinois, Urbana-Champaign)

論題：“Equilibrium Default and Temptation”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年6月26日（木） 午後4:50～6:30

報告者：中嶋 智之氏(京都大学)

論題：“Pareto Optimal Pro-cyclical Research and Development”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月1日（火） 午後4:50～6:30

報告者：浅野 貴央氏(東洋大学)

論題：“Precautionary Principle and the Optimal Timing of Environmental Policy under

Ambiguity”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月3日（木） 午後0:00～1:00

報告者：Bernard Cornet氏(University of Paris I and University of Kansas)

論題：“Financial Equilibria with Restricted Participation”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年7月3日（木） 午後4:50～6:30

報告者：陣内 了氏(Princeton University)

論題：“Product Innovation, Stock Price, and Business Cycle”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月8日（火） 午後4:50～6:30

報告者：加藤 晋氏(東京大学)

論題：“A Role of Common Morality in Social Choice”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月10日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Gerhard Glomm氏(Indiana University Bloomington)

論題：“Public Budget Composition, Fiscal (De)Centralization and Welfare” (Joint with Calin Arcalean, Ioana Schiopu and Jens Suedekum)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月11日（金） 午後4:50～6:30

報告者：Richard Blundell氏(University College London)

論題：“Employment, Hours of Work and the Optimal Design of Earned Income Tax Credits”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月14日（月） 午後0:00～1:30

報告者：飯塚 敏晃氏(青山学院大学)

論題：“Agency Relationship and the Choice of Generic Pharmaceuticals”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月15日（火） 午後0:10～1:10

報告者：今井 晋氏(Queen's University)

論題：“Bayesian Estimation of Games with Incomplete Information”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月15日（火） 午後4:50～6:30

報告者：野口 晴子氏(国立社会保障・人口問題研究所)

論題：“Does Physician Specialty Affect the Survival of Elderly Patients with Myocardial Infarction?”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月17日（木） 午後4:50～6:30

報告者：砂川 武貴氏(日本銀行)

論題：“Inflation Dynamics and Labor Adjustments in Japan: A Bayesian DSGE Approach” (Joint with Hibiki Ichiue and Takushi Kurozumi)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月22日（火） 午後4:50～6:30

報告者：孫 寧氏(上海财经大学经济学院、京都大学経済研究所)

論題：“An Efficient Dynamic Auction for Multiple Complements”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年7月24日（木） 午後4:50～6:30

報告者：Robert Dekle氏(University of Southern California)

論題：“A Quantitative Analysis of China's Structural Transformation”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年7月29日（火） 午後4:50～6:30

報告者：樽井 礼氏(University of Hawaii)

論題：“Child Maltreatment and Educational Attainment: Evidence from Add Health Data” (Joint with Xiangming Fang)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟3階 第3教室

日時：2008年8月7日（木） 午後0:00～1:10

報告者：Sagiri Kitao氏(University of Southern California)

論題：“Taxing Capital Not a Bad Idea After All!” (Joint with Juan Carlos Conesa and Dirk Krueger)

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

日時：2008年8月11日（月） 午後0:00～1:00

報告者：藤井 朋樹氏(Singapore Management University)

論題：“How Well Can We Target Aid with Rapidly Collected Data?: Empirical Results from Poverty Mapping from Cambodia”

場所：東京大学大学院経済学研究科棟12階 第1共同研究室

3 . コンファレンスご案内・報告

(1) TCER プロジェクト (旧逗子コンファレンス) 報告

「統合の政治経済学」をテーマに掲げた旧逗子コンファレンス・TCER プロジェクトの 2008 年度第 1 回コンファレンスが 2008 年 5 月 10 日～11 日、伊豆下田東急ホテルにて開催されました。理論・計量分析の各手法を用いて、統合の政治経済効果を再検討する研究中間報告が行われました。とりわけ、単なる貿易・金融資産の国際取引や労働・資本の各国間移動が活発になることだけで国際相互依存深化を論じることの限界が確認されると同時に、国際相互依存深化と政治経済統合との代替・補完関係についてさらに分析を深める必要性についてプロジェクト参加者の中で意見が一致しました。今年度末には、第 2 回コンファレンスを開催する予定です。

コンファレンスプログラム：

5/10 (土曜日)

- ・ 13:00-14:00：浦田秀次郎・木村福成「東アジアの地域経済統合：地域生産ネットワークの構築」
- ・ 14:00-15:00：小川 英治・熊本方雄 “ Inflation Differentials and the Differences of Monetary Policy Effects among Euro Area Countries ”
- ・ 15:15-16:15：中村二郎・竹内文英「EU統合と貿易構造の変化」論文
- ・ 16:15-17:15：長岡貞男 “ Whether and how does international research collaboration enhance research productivity? ”

5/11 (日曜日)

- ・ 9:30-10:30：小西秀樹「地方分権の政治経済分析」
- ・ 10:30-11:30：清野一治「統合の政治経済学」
- ・ 13:30-15:00：総括

(2) NERO コンファレンス報告

TCERは経済協力開発機構 (OECD) を中心に世界の主要な経済研究機関 (National Economic Research Organizations) が参加する OECD-NERO 会議の立ち上げに参画し、2000 年の第 1 回会議以来、ほぼ毎回、代表を派遣してきました。2007 年度の OECD-NERO 会議は 3 月 12 日にパリの OECD 本部で開催され、西條辰義研究員が出席しました。今回は「気候変動の経済学」というテーマについて多くの基調報告が行われ、その後、熱心な討議が行われました。とりわけ、研究者の関心は、短期ではなく 2050 年ないしはそれを超える長期において、温室効果ガスのフローと共にストックを政治経済的なインセンティブを保持しつつコントロールするのかに集中しました。現状をそのまま継続するなら、2050 年には現状の倍の排出になるという OECD モデルの予測と共に産業革命以降の温度上昇を 2 度

から3度程度におさえるためには、IPCCの第4次報告書もふまえて、排出を現状の半分にせねばならない点も強調されました。さらには、中国・インドの排出が急増すること、対策を遅らせば削減コストがふくらむことなどに関しても活発な議論が展開されました。今回の会議のプログラム、発表論文などについては、以下のウェブサイトをご参照ください。

http://www.oecd.org/document/2/0,3343,en_2649_34117_40127618_1_1_1_37443,00.html

(3) TCER ミクロコンファレンスご案内

今年度のTCER ミクロコンファレンスは、第14回ディセントライゼーション(DC)コンファレンスと共同開催の形で2008年9月13日(土)に近畿大学経済学部EキャンパスB館で行われます。投稿はすでに締め切られましたが、学会への御参加を歓迎いたします。プログラムは以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~game/14thDCConferenceR.html>

参加人数を把握するため、参加予定の方にはメールで事前登録をお願いいたします。メールの題名を「DC参加登録」として、近畿大学清滝ふみ(kiyotaki@eco.kindai.ac.jp)までご所属、ご氏名、メールアドレスをお知らせください。

(4) TCER マクロコンファレンスご案内

第10回マクロコンファレンスは2008年12月6-7日に、TCER、一橋大学物価研究センター、慶應義塾大学の共催の下、東京で開催される予定です。テーマは特に定めず、マクロ関連の論文であれば、理論でも、実証でも、日本に関するものでも、外国に関するものでも良く、広く募集する予定です。しかし、日本経済・世界経済の最近の動向に新しい知見を与えてくれる論文を特に求めます。幹事は櫻川昌哉、塩路悦朗、チャールズ・ユウジ・ホリオカの各氏の予定です。

編集後記

今年度は何名もの新入会員を迎えることができました。入会申請には特に推薦状等は必要ありませんので、お知り合いの経済学研究者の方々をお誘い下さい。個人研究助成も復活しましたので、ますますTCERの活動を活発にしていきたいものです。末筆になりましたが、夏休みの中、本ニューズレターのために執筆の労をとっていただいた皆様に感謝いたします。(グレーヴァ)

Newsletterに関するご意見やご感想は、代表理事 岡崎哲二 okazaki@e.u-tokyo.ac.jp
または総務理事 グレーヴァ香子 takakofg@econ.keio.ac.jp までご連絡下さい。

財団法人東京経済研究センター

Tokyo Center for Economic Research

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 601 号室

Tel & Fax: 03 - 3239 - 2524